とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年6月～11月
クラス名（年齢）	ばら組（5歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

お米作り

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・毎年年長児クラスが行っているお米作りを間近で見ていた子ども達が年長児クラスになり「お米作りをやりたい」と興味を持つ。

2、活動スケジュール

・６月~苗植えを行い夏の間は水を入れて乾かないようにする。
・１０月　稲刈り、干す、脱穀を行う。
・１１月　もみすりを行う。

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・稲、田植えをするプラ船、鎌、脱穀機、もみすり用のすり鉢とボール

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・子ども達に稲の植え方を教え、一人ずつ行う。
・日々観察し生長を喜び、次の活動を楽しみにする。
・稲刈り、脱穀、もみすりも方法を教えてもらい一人ずつ行う。
（このあと保育者が精米をして炊き、みんなでおにぎりパーティーを開く予定。）

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
苗植え・「中に入ったらどろどろだー」「ぎゅってやったら（稲が）刺さった感じがする！」と感触を楽しみながら行った。 ・「曲がってた稲が真っ直ぐになってきた」「本当だ、伸びてるよね？」と植えて数週間後の変化に気づく **９月**・「色変わったね」「この小さいくっついてる粒ってお米だよね？」など米ができていることに気づく **稲刈り**・「切れるかなぁ」「怖そう」「力がいるね」など稲刈りを経験して思ったことを保育者や友達と話す。 **脱穀**・「下に引っぱるんだっけ？」「一気に行くよ！！」「プチプチ～ってお米が落ちていった！」と初めての脱穀に歓声をあげていた。 **もみすり**・「お米が皮を脱いできれいになってきた」「これ、大変だなぁ～」と食べられるようになるまでの大変さを感じながら、一生懸命にもみすりを行っていた。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・初めての米作りは経験したことのない作業ばかりで、作業をするたびに興味や関心が深まっていった。夏の間も生長を気にして観察をしたり、少しだけ色が変わっている、小さい粒が見えたなどの変化にもよく気づいていた。短期間ではできないことや、いつも食べている量を育てるためにはこれだけの労力がかかることも知り、お米の大切さを感じていた。給食で米がでると「１粒も残らず食べたよ！」「お米大事だからね～」と話していて、良い経験になった。